

保温材保護プレート SR-HG
保温材つぶれ抑制試験報告書

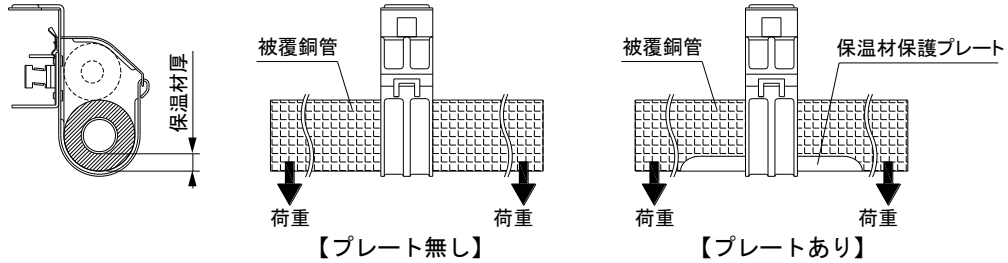
2020年 1月 31日

因幡電機産業株式会社
開発統括部

1. 保温材つぶれ抑制試験

(1) 試験方法

スーパーロック SRV に横引配管を設置して 10 日間放置し、試験前・試験後における保温材厚を測定し、保温材つぶれ量を算出しました。



(2) 試験結果

支持具	試験体 想定する配管	保温材保護 プレート	保温材厚[mm]		保温材つぶれ量 [mm]
			試験前	試験後	
SRV (24 サイズ)	6.35(保温材厚 8mm)×9.52(保温材厚 8mm) ※9.52(保温材厚 8mm)を介して、上記 配管 2m 分の荷重をかける。	あり	8.08	7.89	0.19 (2.4%)
		無し	8.12	3.69	4.43 (54.6%)
SRV (912 サイズ)	28.58(保温材厚 10mm)×38.10(保温材厚 10mm) ※38.10(保温材厚 10mm)を介して、上記 配管 2m 分の荷重をかける。	あり	10.21	7.56	2.65 (25.6%)
		無し	10.23	2.84	7.39 (72.2%)

※表中数値は実測値の代表値であり、保証値ではありません。

以上